

**水野広徳** 海軍軍人、軍事評論家。日露海戦史「此一戦」で文名得るも、軍国主義に幻滅、熱烈な平和主義者に。

みずのひろのり

初の民間工場1875 = 愛媛県広町(松山市)で、旧松山藩士の次男に生まれる。

**明治14年政変**1881 = 6歳 :

秩父事件・・・1884 = **9歳** :

**帝国憲法発布**1889 = 14歳 :

郡司千島探検1893 = **18歳** :

**日清戦争始**・1894 = 19歳 :

松山中学校を経て、

子規句歌革新1898 = 23歳 : **海軍兵学校(26期)を卒業。**

ビア/国産化・1900 = 25歳 : 海軍少尉、

教科書疑獄・1902 = **27歳** :

**日露戦争始**・1904 = 29歳 : **水雷艇艦長として<日露戦争>に従軍し、旅順方面の作戦や日本海海戦に参加。**

**日露戦争終**・1905 = 30歳 : 戦後、海軍軍令部出仕となり、「明治三十七八年海戦史」の編纂に従事、

その間、**日本海海戦の戦記「此一戦」**を書き、

大逆事件判決1911 = **36歳** : **\*「此一戦」が刊行されるやベストセラーとなって、文名を得た。**

**明治天皇没**・1912 = 37歳 :

民本主義・・・1916 = 41歳 : **私費で<第一次世界大戦>中の欧米に留学、戦争への批判的精神が芽生え、**

**凡庸な条約**・1919 = 44歳 : **戦後、再び欧米に私費留学、惨状をみて軍国主義に幻滅、**

大暴落・・・1920 = **45歳** :

**原敬首相暗殺**1921 = 46歳 : **\*{東京日日新聞}に「軍人心理」を寄稿、その民主主義的主張が問題となって予備役に編入されると、軍事評論家に転じ、**

水平社結成・1922 = 47歳 : **尾崎行雄・島田三郎・石橋湛山・河野恒吉らと{軍備縮小同志会}を結成、**

護憲三派圧勝1924 = 49歳 : **{中央公論}に「新国防方針の解剖」を発表して、日米非戦論を主張、**

また、陸軍縮小の主張、軍部大臣武官制の廃止などを新聞・雑誌に発表した。

共産党事件・1928 = 53歳 : 労働農民党の立候補者小岩井浄を応援、

**世界恐慌**・・・1929 = **54歳** :

**満州事変**・・・1931 = 56歳 : **\*<満州事変>後の軍国主義の風潮の中、当局の監視を受けながらも平和主義の立場を守り、**

五一五事件・1932 = 57歳 : **日米開戦を予測した「興亡の此一戦」を発行したが、発売禁止となる。**

国際連盟脱退1933 = 58歳 : **{極東平和友の会}の創立に加わるも、解散させられる。**

**軍備撤廃・軍人の政治干渉反対・日米不戦論を主張、**

**日中戦争始**・1937 = 62歳 : **<日中戦争始>で、海相永野修身に対し、「海軍の自主的態度を望む」と題する公開状を発表するも、**

健保+総動員 1938 = **63歳** :

**言論活動が次第に困難となり、**

大政翼賛会・1940 = 65歳 : **\*論文「戦争と政治」を載せた雑誌{海軍}も発売禁止となった。**

**日米開戦**・・・1941 = 66歳 :

**敗戦**・・・1945 = 70歳 : **<敗戦>直後、疎開地の愛媛県大島で発病し、没した。**